仮装行列の写真から

この写真は、旧柳谷村で収集された写真のうちの一枚です。「落出秋祭り（仮装行列）」の説明はあるものの、撮影年代は不明とのこと。そこで、写っているものを細かく観察し、撮影された年代やこの時代の流行について探ってみたいと思います。



落出秋祭り（仮装行列）

目立っているのが、名札を提げているこの人たちです。



右の二人は「真知子（まちこ）」と「春樹（はるき）」。こちらは NHK ラジオで放送されたドラマ『君の名は』（1952 年～1954 年放送）の登場人物です。大人気ドラマで、「放送が始まると銭湯の女湯から人が消える」（銭湯では放送を聞けないから）というエピソードが残っています。



「真知子巻き」

1953（昭和 28）年に映画化されると「真知子巻き」と呼ばれるストールの巻き方が大流行しました。

左の二人は、「與(与)三郎」と「お富」。

1954（昭和 29）年 8 月に『お富さん』という曲が発売されました。歌手は春日八郎。この曲は歌舞伎の演目『与話情浮名横櫛』（通称：切られ与三、お富与三郎）を元にしたもので、大ヒットしました。これを取り入れた仮装で間違いないものと思います。



ここまで見てくると、写真の撮影は『お富さん』がヒットした 1954 年以降だと考えられるのですが、実はもう一人キーパーソンがいました。前列の中央にいるこの人物です。　→　→　→　→

この頃、仮装の対象となるもので、「ノートルダム」の語が使われている映画がありました。本来のタイトルは『ノートルダム・ド・パリ』のフランス映画ですが、日本での上映では『ノートルダムの×××男』でした（×××は、現在は差別語とされているので伏せ字とします）。なお、1996 年に上映されたディズニー長編アニメでは『ノートルダムの鐘』のタイトルが付けられていますが、すべて同じお話です（原作はヴィクトル・ユーゴー）。

この映画の日本での上映は、1956（昭和 31）年 12 月でした。したがって、この写真の撮影時期は、これよりも後だと考えられます。

写真を注意深く見ていくと、電信柱（でんしんばしら）（電柱（でんちゅう））が木製だったこと、消防団員らしき人の法被（はっぴ）に「落出火防隊」と書かれていることなど、当時の様子をうかがうことができます。

それにしても人出がすごいですね。